

# 橋本道夫記念シンポジウム 概要と総括

## 「橋本道夫記念シンポジウム」事務局

OECCは、今年度より例年の総会のタイミングに合わせて、シンポジウムを開催することにしました。その第1回のシンポジウムを企画してきた段階でOECC初代理事長の橋本道夫先生の名前を冠した行事として位置付けできないかのご提案を頂き、多くの皆様方のご賛同を得て、「橋本道夫記念シンポジウム」として開催することとなりました。

改めて申し上げるまでもなく、橋本道夫先生は、我が国の公害環境行政の先導者として道を拓かれるとともに、国際環境政策の先駆けとして活躍され、今日の海外環境開発協力の礎を築かれました。この

あてて、国内の有識者を中心に集中的な議論を行っていただきました。

この分野の海外協力については、今後更なる発展が期待される領域であることから、国内外の高い関心が寄せられていることもあり、OECC会員企業・団体からも多数の参加者を得て熱心な議論が繰り広げられました(写真参照)。

今回のシンポジウムでは、基調講演を高橋地球環境審議官にお願いし、それに続くパネル・ディスカッションでは、各分野の最前線の専門家にご登壇いただき、活発な議論を展開していただきました。とりわ

### 「橋本道夫記念シンポジウム」発起人(敬称略、50音順)

青山 俊介	石坂 匡身	今井 千郎	小野川和延
片山 徹	加藤 三郎(代表)	小林 料	桜井 国俊
鈴木 基之	関 荘一郎	竹本 和彦	田畑日出男
中村 正久	西岡 秀三	浜中 裕徳	三村 信男
森 仁美	柳下 正治	吉原 健二	渡辺 修

度上述のとおり多くの有識者の皆様方から、本年は橋本道夫先生のご逝去からちょうど10年目の節目の年でもあることから、同先生のご功績をたたえとともに、同先生の志を後世に引き継いでいくことを目的とした行事としてのシンポジウム開催のご提案を頂きました。本提案にご賛同いただきました皆様には、去る4月26日に開催された発起人会にご参画頂くとともに、今後のシンポジウムのあり方などについて多くの示唆に富むご助言を賜りました。本誌面をお借りし、改めて発起人の皆様方に感謝申し上げます。

今回のシンポジウムでは、昨年7月に環境省が発表した「環境インフラ海外展開基本戦略」に焦点を

け環境インフラの実効の上がる海外展開に向けては、協力対象国との有機的な協働によるコ・イノベーションの探求が不可欠であること、また民間セクターのリソースをどのように動員していくかなどについて議論を深めていただきました。(議論の詳細については、本誌特集記事参照)。

OECCとしては、今後とも記念シンポジウムを毎年開催し、その時々々の優先課題について、未来志向の議論をしっかりと行い、橋本先生の志を末長く引き継いでいくことと致しますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



左より、藤田、武藤、関、福士、河村、杉本各氏